

# 附属平野小・研究だより 第3号



平成 25 年 12 月 20 日  
大阪教育大学附属平野小学校

## 「研究一色」

本校には、4つの任務があります。1つ目は、「児童の心身の発達に応じた初等教育を実践する」ことです。このことは、本校は、附属小学校でありながら、ふつうの小学校でもあるということです。2つ目は、「教育実習の実施校として、教育実習生の指導にあたる」ことです。3つ目は、教育研究の推進を図るため、大阪教育大学と密接な関係を保ちつつ、実証的な研究を行う。また、教育の成果を発表し、わが国の教育の発展に寄与することに努める」ことです。4つ目は、「国の『拠点校』、地域の教育の『モデル校』として寄与する」ことです。3つ目と4つ目は、研究に関する任務です。今年、『研究一色』をスローガンとし、その実現に向けて研究組織や研究計画を改善しました。まず、研究ネットワーク部を新設し、大学と連携した「平野五校園共同研究」のプロジェクト化と、公立学校の先生向けに「授業実践講習会 Open-Café」に取り組みました。次に、授業研究部を新設し、「学びを創り続ける子どもの育成」をめざした教科研究と授業研究の充実に取り組み、授業研究発表会を開催予定しています。さらに、それらの部を包括する研究活動本部内に、研究の成果や児童の成長をはかるQU調査や、タブレット端末などを使ったICT活用も取り入れました。このような研究活動によって、よりよい学びを創り出し、このことが子どもたちの「確かな学力」と「豊かな心」を育てることにつながります。それが「研究一色」なのです。

副校長 橋本 隆公

## 🌸 研究教科紹介 🌸

附属平野小学校の各教科の研究内容についてお伝えします。毎号3教科ずつご紹介したいと思います。各教科の研究テーマや、普段の授業においてどんなことを大切にしているかなどについてお伝えできればと思います。

## 算数

### 子どもの算数的な気づきでつなぐ授業づくり

「算数科における学びを創り続ける」子どもを育てていくために、子どもの「気づき」と「意欲」を大切に授業づくりに取り組みんでいます。子どもが算数の問題と出合った時に、新しい疑問や追究したいことというような「気づき」を持ち、それらを連続発展させていく。その気づきの連続発展が、学習意欲の高まりに通じ、また新たな気づきを生む。このように「気づき」と「意欲」が相互に関係し合いながら、学びを創り続けると考えています。

#### 【実際の授業での例】

【意欲】  
今日はしっかりできたよ。

【意欲】もっと新しい問題に  
チャレンジしてみたいな。

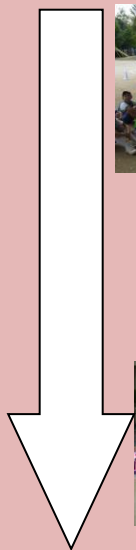
【算数的な気づき】  
10の位、1の位と分けて考えると  
かけ算の筆算も簡単にできたよ。


【算数的な気づき】  
「もっと大きな数でも、100の位、1000の  
位と分けて考えていくとできそうだな。」

そして、この気づきを引き出すために、授業の終わりの練習問題の取り組み方に工夫したり、単元の初めでの単元の課題設定や学習感想からの子どもの気づきをいかして、単元を構成したりといった具体的な手立てについて、研究を進めています。


## 学び合い活動を通して、学びを深める子ども

体育科では、10月31日に2年生のボールゲーム「まと当てゲーム」の研究授業が行われました








みんなでめあてを共有してから運動に取り組みます。




簡単なゲームから始め、意欲的に運動に向かえるようにします。







見つけたコツや気づきを交流して、よりよい動きを目指します。



授業後に行われた討議会では、子どもたちが意欲的に運動に取り組み、よりよい動きや作戦を話し合っって学習する姿が見られた反面、より子どもたちの学びを深めるために、ゲームのルールや授業の構成、話し合いから得られた学びを共有する場の持ち方など、指導者の準備や視点について話し合われました。2月の授業研究発表会に向けて、より子どもたちの学びを深められるよう研究を深めていきたいと思ひます。

## 図画工作科

### 子どもが主体的に発想・構想の能力を働かせる授業づくり

本校図画工作科（以下、図工科）では、学びを創り続けるためには、まず子どもたちが発想・構想の能力を働かせて学びを創り始めることが重要だと考え、研究を進めています。考えることとつくることを繰り返す図工科では、材料・用具・題材との出会いにおいて、子どもたちが「こんなことをやってみたい」「こんなことができそうだ」という発想・構想の能力を働かせることができるように、授業づくりをしています。

#### 【授業を始めるまで】

- ①**題材名の工夫** : 活動意欲が高まるだけでなく、活動内容を知ったり、活動の見通しをもったりできるものにします。
- ②**子ども理解と魅力ある題材の開発** : 子どもたちの興味関心の対象や、それまでの学びと課題を把握し、子どもに適した題材を開発します。

#### 【授業の始まり】

- ①**環境設定の工夫** : 準備物の精選、活動場所など、子どもたちが十分に材料と関わりながら自分の思いを自由に表すことができる空間づくりをします。
- ②**題材との出会いの場の工夫** : 子どもたちが主体的に発想・構想の能力を働かせることができるように、材料と出会うタイミングなどを工夫します。
- ③**対話の組織** : 子どもたちが学び合いながら学習をすすめることができるようにします。
- ④**発想・構想の能力を働かせることができる雰囲気づくり** : 子どもたちが、思い思いに表現できる安心感を持って活動できる雰囲気をつくります。

# 教科掲示板

ここでは本校各教科の研究活動の現状について、毎号で簡単にご紹介したいと思います。今回は、主に各教科の研究テーマのご紹介です。

## 国語科

単元を貫く言語活動を設定し、各領域において目的意識をもって単元の学習に臨めるように授業づくりを工夫しています。また、学んだことを次の単元に活かすために学習者と指導者が読みの力を共有（国語の知恵袋）したり、学校図書館を有効に活用した並行読書を取り入れたりしています。

## 社会科

「問題意識を自ら連続・発展させる子どもを育てる授業」をテーマに学習しています。

5年生では座席表を使って、個の思いを読み取り、次の授業に活かすようにしています。今後は、こうした個々の問題意識の変容をふりかえり、自らの成長を感じられるような場設定を単元末で行えるようにと模索しています。

## 算数科

4年生の「小数のかけ算の筆算」について学習しました。前時からの気づきをいかして、子どもたちが筆算を創り上げていく授業を行ってきました。また、3年生の「1けたをかけるかけ算」の学習では、単元の初めに、子どもたちと学習計画を立てて学習を進める取り組みをしています。

## 理科

10月に3年生「ぴっかりタウン」の研究授業を行いました。電気の通り道と金属に関わる単元です。

ものづくりを単元の中心に位置づけ、理科における探究的な学びをねらいました。明かりがつくしくみと制作物との関連が重要であることを見出しました。

## 生活科

11月に2年生「ゴムをつかってあそぼう」の研究授業を行いました。ゴムのおもちゃを作って気付いたことを出し合い整理する場面です。発表し合った気づきを自分たちで仲間分けしながら、素材や遊び方についてのコツに気付きました。さらなる工夫へとつながっていきます。

## 音楽科

「間を感じて手締めをつくろう」では、子どもたちに身近な平野のだんじりでの《大阪締め》を扱った。ICTの活用によって、様々な映像や自分たちの手締めに客観的に振り返ることができました。《手締め》を用いて、日本特有の「間」に対する知覚・感受を深めることができました。

## 図画工作科

6年生が、卒業制作にむけて活動を始めました。まず、これまでの卒業制作を鑑賞しました。作品に込められた思いなどを感じ取りながら見ている姿が印象的でした。今は、114期生の学年テーマ「∞（無限大）」に沿って、話し合いながらイメージを広げているところです。

## 体育科

研究教科紹介でもお知らせしましたように、秋の研究授業では、2年生ボールゲーム「まとあてゲーム」を行いました。よりよい動きや作戦についての話し合い活動を充実させ、共有する場を工夫することで、子どもたちの学びがより充実したものになるようにしていきたいと考えています。

## 道徳

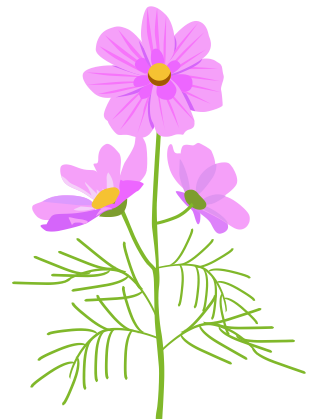
「学びを創り続ける授業の構成」の一つとして、役割演技から学びを表現することをめざしています。今までの学びから「よりよい生き方」を役割演技で表現することで、これからの自己の生き方に結びつけやすくします。授業の後半では、資料の結末部分を役割演技することが定番になってきています。

## 総合的学習

「平野ハートフルプロジェクト」では、各クラスで4人グループの生活班ごとに、「心のぬくもりを感じるための活動」を提案し、取り組みを行います。劇やロールプレイ、共同作業などの方法を取り入れて、どの班も自分たちが考える「心のぬくもり」を目指して様々な活動を行っています。

## 外国語活動

2学期は、「夏休みの思い出をジェスチャーで表そう！」から始まり、相手に言葉なしでどのように表現したらうまく伝わるかを考えながら進めてきました。その後、テーマに沿って4コマ漫画（写真）を撮影し、顔の表情を工夫するなどして、正確に伝えることをめざしました。





# 教科写真館



**国語科** 単元「ローマ字」で、ローマ字の学習を活かしてiPadの文字入力をローマ字に設定し、テーマを決めてオンラインでメッセージ入力をしている場面です。



**算数科** 三角形を2つに切ったとき、どのような形になるか、自分の考えをもとに友だちと話し合っている場面です。



**社会科** 「自動車工業のさかんな地域」で自動車工場の動画を班で観てノートにまとめたり、見つけたデータを全体で共有したりしています。



**理科** 「ぴっかりタウン」での姿です。豆電球の明かりでぴっかり光る街を作っています。作りながら、回路や金属といったことに気づき、またそれをいかした街づくりをねらいました。



**生活科** 夏野菜を育てている二年生が、一年生に野菜の紹介や育て方のコツなどを教えてくれています。



**音楽科** 歌唱「拍の流れを感じて《わらべうた》をうたおう」でお手合わせを通して拍の流れを共に感じながら学びを深めている場面です。



**図画工作科** 空き容器と紙粘土を組み合わせて、生活の中で使えるものをつくっているところです。



**体育科** 「まと当てゲーム」で作戦を考えたり、相手の動きを見てプレイしたりしている姿です。



**道徳** よりよい生き方につながる考えを話し合っている場面です。道徳的価値にせまり、道徳的実践力につながる役割演技を行います。



**総合的学習** 「平野ハートフルプロジェクト」で「心のぬくもり」を感じるための活動を考え、発表している場面です。



**外国語活動** 「外国へ行ってみよう」での姿です。外国の国旗について一人一台のiPadを使って、自分の行きたい国の国旗の色や形の由来を調べています。